

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：川崎 茂信

事業名	一般国道483号 <small>ひだかとおおかみなみ</small> 日高豊岡南道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局																											
起終点	自：兵庫県豊岡市上佐野 至：兵庫県豊岡市日高町久斗	延長	6.1km																													
事業概要																																
<p>北近畿豊岡自動車道は、豊岡市から丹波市に至る延長約70kmの高規格幹線道路であり、兵庫県北部の但馬地域と丹波地域の連携を支援するとともに、舞鶴若狭自動車道等を介して京阪神都市圏と直結することで、地域の活性化を支援する自動車専用道路である。</p> <p>日高豊岡南道路は、交通混雑の緩和、災害時等の交通の確保、第3次医療機関へのアクセス向上、観光振興への支援、企業立地への支援を目的としている道路である。</p>																																
H18年度事業化	H17年度都市計画決定 (H-年度変更)	H22年度用地着手	H24年度工事着手																													
全体事業費	約412億円	事業進捗率	26%	供用済延長	—km																											
計画交通量	19,700台/日																															
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">B/C</td> <td style="width: 10%;">事業全体</td> <td style="width: 10%;">1.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残事業</td> <td>2.2</td> </tr> </table>	B/C	事業全体	1.5		残事業	2.2	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総費用</td> <td style="width: 10%;"><small>(残事業)/</small>(事業全体)</td> <td style="width: 10%;">286/406億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費</td> <td>252/372億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>34/ 34億円</td> </tr> </table>	総費用	<small>(残事業)/</small> (事業全体)	286/406億円		事業費	252/372億円		維持管理費	34/ 34億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総便益</td> <td style="width: 10%;"><small>(残事業)/</small>(事業全体)</td> <td style="width: 10%;">624/624億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>492/492億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>走行経費減少便益</td> <td>85/ 85億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>46/ 46億円</td> </tr> </table>	総便益	<small>(残事業)/</small> (事業全体)	624/624億円		走行時間短縮便益	492/492億円		走行経費減少便益	85/ 85億円		交通事故減少便益	46/ 46億円	基準年	平成28年
B/C	事業全体	1.5																														
	残事業	2.2																														
総費用	<small>(残事業)/</small> (事業全体)	286/406億円																														
	事業費	252/372億円																														
	維持管理費	34/ 34億円																														
総便益	<small>(残事業)/</small> (事業全体)	624/624億円																														
	走行時間短縮便益	492/492億円																														
	走行経費減少便益	85/ 85億円																														
	交通事故減少便益	46/ 46億円																														
感度分析の結果																																
<p>【事業全体】 交通量：B/C=1.3～1.8（交通量 ±10%） 【残事業】 交通量：B/C=1.9～2.5（交通量 ±10%）</p> <p>事業費：B/C=1.4～1.6（事業費 ±10%） 事業費：B/C=2.0～2.4（事業費 ±10%）</p> <p>事業期間：B/C=1.5～1.6（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.1～2.2（事業期間±20%）</p>																																
事業の効果等																																
①交通混雑の緩和																																
<ul style="list-style-type: none"> ・国道312号は、朝夕の通勤帰宅時や観光シーズンには混雑が発生しているが、日高豊岡南道路の整備により交通の転換が図られることで、交通混雑の緩和が期待される。 																																
②災害時等の交通確保																																
<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域を流れる円山川は幾度となく氾濫が起き、市民生活に多大な影響を与えている。日高豊岡南道路は、比較的高い位置を通過するため、水害への影響は受けず、災害時にも幹線道路としての機能を発揮できる。 																																
③第3次救急医療機関へのアクセス向上																																
<ul style="list-style-type: none"> ・但馬南部地域の山間部は各消防から救急車で1時間かかる場所もあり、豊岡病院からドクターヘリを運行しているが、ヘリで対応出来ない場合にドクターカーでカバーする独自の救急医療体制を構築している。 ・30分圏域人口カバー率が77%→90%に拡大し、救急搬送時の時間短縮が期待される。 																																
④観光振興への支援																																
<ul style="list-style-type: none"> ・但馬地域には「城崎温泉」や「竹田城跡」といった目玉観光資源が存在しており、日高豊岡南道路の整備による利便性の向上により、但馬地域内の観光の活性化が期待される。 																																
⑤企業立地への支援																																
<ul style="list-style-type: none"> ・北近畿自動車道の整備が進み、周辺地域に企業が進出している。 ・日高豊岡南道路の整備により、時間短縮が図られるなど利便性が高まることから、引き続き、企業進出が期待される。 																																
⑥特定重要港湾へのアクセス向上																																
<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市～神戸港への所要時間が短縮（146分→127分） 																																
⑦日常生活圏の中心都市へのアクセス向上																																
<ul style="list-style-type: none"> ・豊岡市～朝来市への所要時間が短縮（46分→40分） 																																
関係する地方公共団体等の意見																																
<p>地域から頂いた主な意見：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年8月3日、但馬自治会から「但馬地域の振興整備に関する要望」で、八鹿日高道路は平成28年 																																

度開通予定、日高豊岡南道路の早期完成の要望を受けている。

- ・平成28年9月10日、北近畿豊岡自動車道建設促進期成同盟会、但馬・地域高規格道路推進協議会から、「北近畿豊岡自動車道早期実現促進大会」及び「道路関係団体合同要望」で、北近畿豊岡自動車道の早期整備の要望を受けている。

兵庫県知事の意見：

一般国道483号北近畿豊岡自動車道は、舞鶴若狭自動車道、播但連絡道路及び山陰近畿自動車道と高速道路ネットワークを形成することにより、環日本海地域と関西都市圏の連携・交流を強化するとともに、県内唯一の高速道路空白地域を解消する極めて重要な道路である。

また、但馬地域唯一の3次救急医療機関である公立豊岡病院へのアクセス性向上や災害時など緊急時における輸送路の確保など、医療や防災面においても大きな効果を発揮する道路であり、先の東日本大震災を踏まえ、北近畿豊岡自動車道の早期整備に対する期待は一層高まっている。

こうしたことから、日高豊岡南道路の早期供用、さらには豊岡道路の事業促進及び既に都市計画決定している豊岡IC～豊岡北IC間の早期事業化、豊岡北ICから山陰近畿自動車道との接続を含めた直轄による調査着手をお願いしたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道483号日高豊岡南道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切であり、対応方針（原案）のとおり「事業継続」することが妥当と判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

和田山八鹿道路が平成24年11月に供用し、並行する国道312号の交通量が約3割増加した。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成18年度に事業化、平成22年度に用地着手し、用地進捗率99%、事業進捗率26%（平成28年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

現在、調査・設計、トンネル工事、改良工事を推進しており、早期の暫定2車線供用を目指している。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等によりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

【概要図】

【位置図】



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。